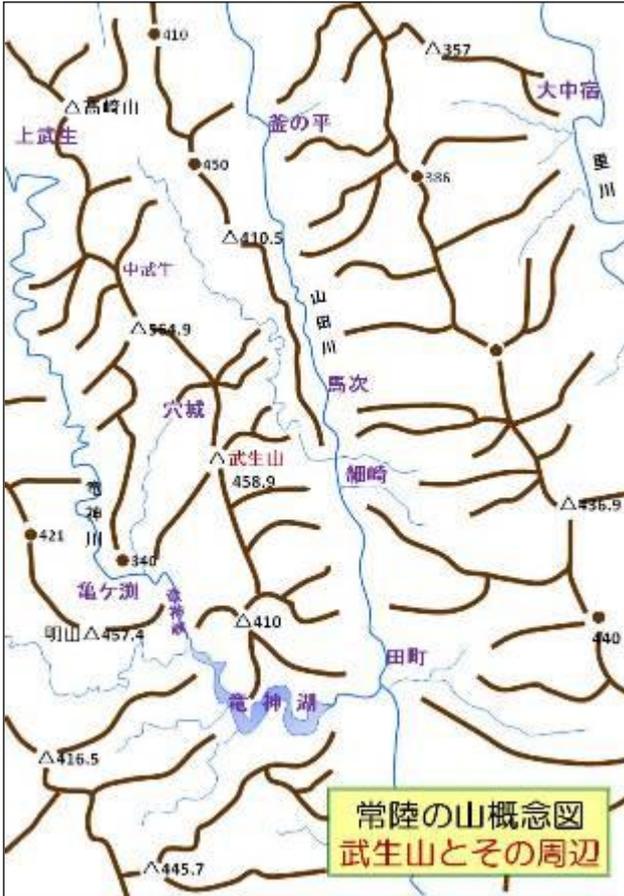


# 踏み跡 <My Mountains>

茨城(常陸)	武生山(武生林道)	No.290
--------	-----------	--------



茨城の山、ひとつクリヤするとまた次のターゲットが飛び出してくる。今回の終わりを地図で確認していると、目にとまる山がまた現れる。山の高さではない、山の名であったり山の形であったり、また時にはその近くの集落の地名であったり……。だから「地図を読む」と面白い。

武生山(たきゅうやま・たきゅうさん)、山頂の神社は役小角が開いたとの伝えがあるそうだ。7月11日から20日まで夏休みを取ったので、その中の一日を充てることにした。(夏休み後半のイベントについては次のNo.291参照)

平成10年7月14日  
 天気は曇り、7時50分車で出発。国道16号線が混んでいるようなので、下のしかも裏道をゆっくり行くことにした。王子台・印旛沼・印西・竜ヶ崎・牛久・土浦と進んで、桜土浦ICから常磐自動車道に入った。那珂ICを出て金砂郷・水府村を経て竜神ダム入口の村営駐車場に11時30分に到着。ちょっとのんびり旅を楽しみ過ぎたせいか、この流れだと山頂へ昼食を食べに行く感じになってしまった。手短かに身支度を整えて11時44分に出発。

山田川沿いの道から西へ浅い沢沿いの林道を登って行くと、なだらかな起伏の尾根に出た。ここから北北西に針路をとるとまもなく武生神社、12時40分。林道を北へしばらく進むと、まだ7月だと言うのにタマゴタケを一本発見。こんなにわかりやすいところに生えているのに採られずに残っているということは、この辺の人はタマゴタケには興味がないに違いない。地図上で見ると、道は武生山の頂上の三角点(458.9m)を通過しているようなので探してみたが、新しくできた林道は稜線の最高点を通過しておらず見つからなかった。しかたがないので三角点探しは諦めて林道を適当に北上してみることにした。



左手に籠岩や大円地・男体山のゴツゴツした岩尾根が手に取るように見える。茨城の低山とも思えぬ風格のある稜線が連なっている。(左写真) 林道を中武生の少し手前位まで行き、良さそうな場所を探して昼食と昼寝。ほかに登山者が来る訳でもない、静かで贅沢な貸し切りの山だ。帰路は往路を戻りながら注意深くキノコ観察。その結果往路の収穫の他にさらに、タマゴタケ4本とサクラシメジ1本を収穫。冷夏のため思いもよらぬ気温のせいでタマゴタケ達が出てきてしまったようだ。まさに「達成感のある山歩き」の一日となった。

駐車場に16時15分に帰着し、平日で道路混雑がないせいか自宅には19時に到着できた。

以上